

製品名: 代謝型グルタミン酸受容体2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02249**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.37mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 96 kDa; Observed MW: 99 kDa

抗原情報

遺伝子名	GRM2
別名	GRM2; GPRC1B; MGLUR2; Metabotropic glutamate receptor 2; mGluR2; GRM3; GPRC1C; MGLUR3; Metabotropic glutamate receptor 3; mGluR3
遺伝子 ID	2912
SwissProt ID	Q14416
免疫原	ヒト代謝型グルタミン酸受容体2の合成ペプチド

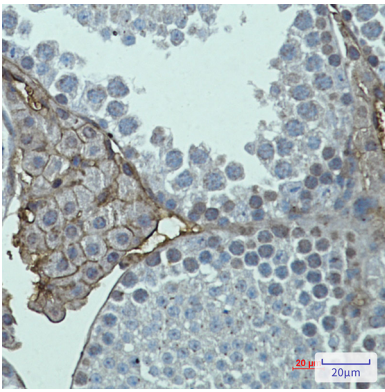
背景

グルタミン酸に対する G タンパク質共役受容体。リガンド結合により構造変化が引き起こされ、グアニンヌクレオチド結合タンパク質 (G タンパク質) を介したシグナル伝達が誘導され、アデニル酸シクラーゼなどの下流エフェクターの活性が調節される。シグナル伝達はアデニル酸シクラーゼの活性を阻害する。神経伝達の抑制を媒介するか、シナプス形成またはシナプス安定化に関与している可能性がある。

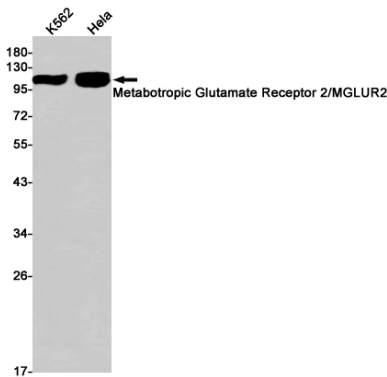
研究分野

神経科学

画像データ



代謝型グルタミン酸受容体 2 抗体を使用したパラフィン包埋マウス精巢の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



代謝型グルタミン酸受容体 2 抗体を使用した K562、Hela 溶解物中の代謝型グルタミン酸受容体 2 のウエスタン ブロット分析。